



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年10月28日

上場会社名 株式会社京写 上場取引所 東
 コード番号 6837 URL <https://www.kyosha.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 児嶋 一登
 問合せ先責任者(役職名) 取締役 常務執行役員 経営管理本部長 (氏名) 平岡 俊也 (TEL) 075-631-3193
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	11,751	15.4	213	△14.8	215	△22.7	73	△42.3
2022年3月期第2四半期	10,186	29.6	250	—	278	—	127	—

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 1,052百万円(98.5%) 2022年3月期第2四半期 530百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	5.12	—
2022年3月期第2四半期	8.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	23,153	8,396	35.2
2022年3月期	20,894	7,395	34.4

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 8,160百万円 2022年3月期 7,189百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	23,000	7.8	700	46.2	630	22.7	360	24.5
								25.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年3月期2Q	14,624,000株	2022年3月期	14,624,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	229,487株	2022年3月期	294,287株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年3月期2Q	14,344,900株	2022年3月期2Q	14,329,713株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
2. 当社は2022年11月22日 (火) に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会をウェブ会議システムを用いて開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、説明会開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の当社が属するプリント配線板業界は、国内外共に経済活動の正常化が進み、概ね堅調に推移しましたが、依然として半導体不足が続き、加えて急激な為替変動により原材料やエネルギー価格が高騰していることから、先行きは不透明な状況にあります。

このような環境の中、当社グループの国内の状況は、プリント配線板事業では、主力の自動車関連分野で半導体や部品不足による生産調整の影響が続き、受注が低迷しました。実装関連事業は、産業機器や通信機器向けの受注が回復基調で推移したものの、国内の売上高はプリント配線板事業の受注減により、前年同四半期を下回りました。

海外においては、中国は都市封鎖の影響を受けたものの、自動車関連分野を中心とした新規顧客と新商品の売上が寄与し、事務機分野の受注も中国、インドネシアで好調に推移しました。また、前期に稼働したベトナムは引き続き順調に推移し、自動車関連分野を中心に売上を伸ばしました。これらの結果、連結売上高は11,751百万円（前年同四半期比15.4%増 1,564百万円の増収）となりました。

利益面は、ベトナム子会社や実装関連事業の業績が改善したものの、国内の自動車生産調整の影響と、主材料等の価格高騰や電力料等の製造経費が増加した結果、営業利益は213百万円（前年同四半期比14.8%減 36百万円の減益）、経常利益は215百万円（前年同四半期比22.7%減 63百万円の減益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は73百万円（前年同四半期比42.3%減 53百万円の減益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、主に現金及び預金の増加1,043百万円、受取手形及び売掛金の増加404百万円、有形固定資産の増加564百万円等により、23,153百万円（前連結会計年度末比2,258百万円の増加）となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、主に支払手形及び買掛金の減少289百万円、短期借入金の増加895百万円、長期借入金の増加506百万円等により、14,756百万円（前連結会計年度末比1,257百万円の増加）となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、主に為替換算調整勘定の増加1,035百万円、非支配株主持分の増加30百万円等により、8,396百万円（前連結会計年度末比1,001百万円の増加）となりました。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前第2四半期連結累計期間より430百万円増加し、4,203百万円となりました。各活動別のキャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加額は、854百万円（前年同四半期は218百万円の減少）となりました。これは主に仕入債務の減少722百万円や、減価償却費447百万円、売上債権の減少354百万円、棚卸資産の減少352百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少額は、279百万円（前年同四半期は257百万円の減少）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出272百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の増加額は、49百万円（前年同四半期は787百万円の増加）となりました。これは主に長期借入れによる収入440百万円、長期借入金の返済による支出238百万円、配当金の支払70百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の業績につきましては、2022年7月29日発表からの変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,299	4,342
受取手形及び売掛金	3,904	4,308
電子記録債権	980	899
製品	2,078	2,358
仕掛品	580	581
原材料及び貯蔵品	1,756	1,703
その他	1,121	1,193
貸倒引当金	△5	△6
流動資産合計	13,715	15,381
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,823	5,276
減価償却累計額	△3,242	△3,572
建物及び構築物(純額)	1,580	1,703
機械装置及び運搬具	9,760	10,999
減価償却累計額	△6,578	△7,397
機械装置及び運搬具(純額)	3,181	3,602
土地	724	724
建設仮勘定	198	51
その他	1,490	1,805
減価償却累計額	△1,007	△1,154
その他(純額)	483	651
有形固定資産合計	6,168	6,732
無形固定資産	31	26
投資その他の資産		
投資有価証券	579	564
繰延税金資産	84	102
その他	316	346
貸倒引当金	△0	△1
投資その他の資産合計	979	1,011
固定資産合計	7,178	7,771
資産合計	20,894	23,153

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,597	2,308
電子記録債務	900	903
短期借入金	4,489	5,385
1年内返済予定の長期借入金	476	403
リース債務	46	45
未払法人税等	204	207
賞与引当金	201	201
その他	759	854
流動負債合計	9,675	10,309
固定負債		
長期借入金	3,210	3,717
リース債務	71	69
退職給付に係る負債	417	441
その他	123	218
固定負債合計	3,824	4,446
負債合計	13,499	14,756
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,102	1,102
資本剰余金	1,172	1,186
利益剰余金	4,204	4,206
自己株式	△33	△25
株主資本合計	6,446	6,469
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	83	39
繰延ヘッジ損益	△51	△111
為替換算調整勘定	733	1,768
退職給付に係る調整累計額	△22	△6
その他の包括利益累計額合計	742	1,691
非支配株主持分	205	235
純資産合計	7,395	8,396
負債純資産合計	20,894	23,153

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	10,186	11,751
売上原価	8,519	9,936
売上総利益	1,666	1,814
販売費及び一般管理費	1,416	1,601
営業利益	250	213
営業外収益		
受取利息	3	2
受取配当金	2	4
為替差益	—	6
仕入割引	7	11
受取手数料	6	3
雇用調整助成金	55	6
雑収入	10	14
営業外収益合計	85	49
営業外費用		
支払利息	27	46
為替差損	22	—
売上債権売却損	3	1
雑損失	3	—
営業外費用合計	57	48
経常利益	278	215
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産売却損	—	2
固定資産除却損	7	6
特別損失合計	7	8
税金等調整前四半期純利益	271	206
法人税、住民税及び事業税	154	136
法人税等合計	154	136
四半期純利益	117	70
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△10	△3
親会社株主に帰属する四半期純利益	127	73

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	117	70
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4	△43
繰延ヘッジ損益	△8	△59
為替換算調整勘定	419	1,068
退職給付に係る調整額	6	16
その他の包括利益合計	413	982
四半期包括利益	530	1,052
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	527	1,022
非支配株主に係る四半期包括利益	2	30

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	271	206
減価償却費	414	447
引当金の増減額 (△は減少)	△10	△11
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	16	△6
受取利息及び受取配当金	△5	△6
支払利息	27	46
有形固定資産除売却損益 (△は益)	6	8
売上債権の増減額 (△は増加)	117	354
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△739	352
仕入債務の増減額 (△は減少)	△46	△722
その他	△72	348
小計	△19	1,015
利息及び配当金の受取額	4	6
利息の支払額	△27	△44
法人税等の支払額	△176	△123
営業活動によるキャッシュ・フロー	△218	854
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2	△1
定期預金の払戻による収入	2	—
有形固定資産の取得による支出	△167	△272
無形固定資産の取得による支出	△6	—
有形固定資産の売却による収入	1	0
投資有価証券の取得による支出	△85	△5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△257	△279
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	947	△55
長期借入れによる収入	—	440
長期借入金の返済による支出	△130	△238
配当金の支払額	△0	△70
リース債務の返済による支出	△28	△27
財務活動によるキャッシュ・フロー	787	49
現金及び現金同等物に係る換算差額	101	416
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	413	1,041
現金及び現金同等物の期首残高	3,359	3,161
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,772	4,203

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。